



水土里情報を活用した人・農地プラン作成の取組事例について紹介します

(1/2)

今回紹介する団体： 水土里ネット長崎
雲仙市

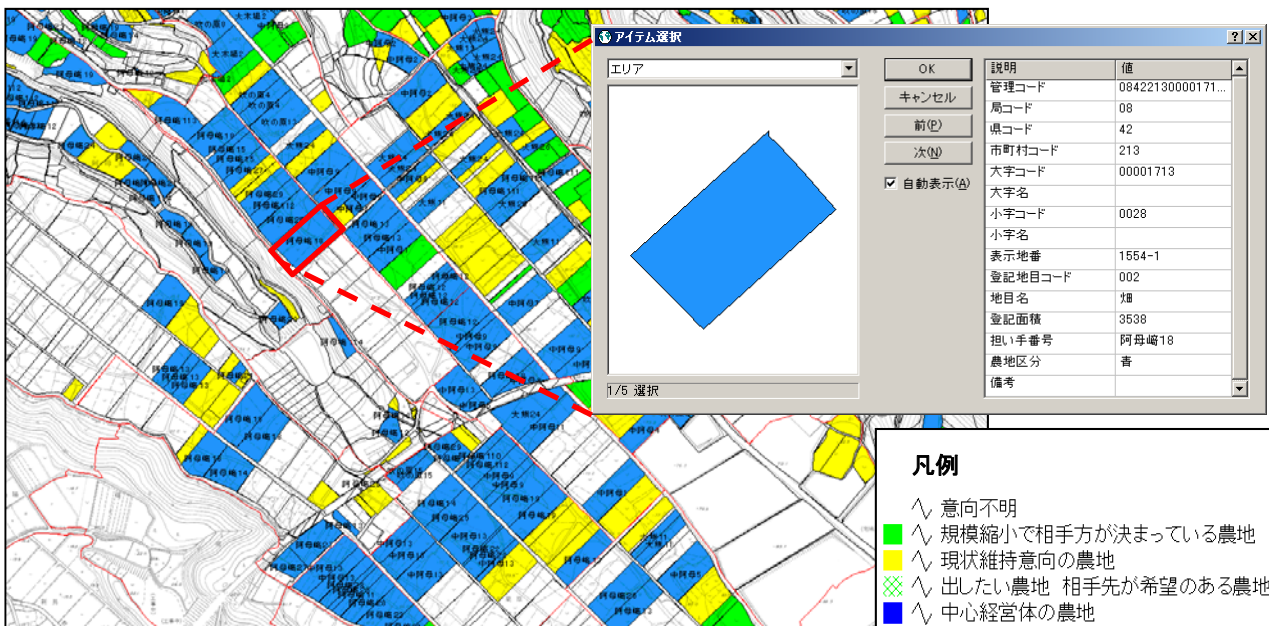
取組概要

内容：…………… 水土里情報利活用促進事業で整備した、地形図(1/2500)、農地筆を活用して、地域の中心となる農業者(個人・集落営農組織)リストを基に農地利用図(現況状況図)を作成し、「人・農地プラン」の作成に活用。

- 経緯：……………
- ① 市では農業委員会が所有する農地基本台帳情報を基に人・農地プラン用農地情報システムを独自に構築し管理していたが、地図との整合がなく図面作成は手作業によるものであった。
 - ② 平成24年5月～水土里ネット長崎に、雲仙市から「人・農地プラン」の作成・管理方法について、水土里情報で整備した地図と結合することでデータベース化も行いたいとの相談があった。
 - ③ 平成24年11月に雲仙市と水土里ネット長崎との間で「人・農地プランデータ作成業務」について契約を締結。
 - ④ 平成24年11月より水土里情報地図データとの結合作業に着手。

期待される効果

農地利用図の作成に水土里情報整備データを活用することにより、現況の農地利用状況の把握ができ、データベース化することで今後の管理が容易となる。



農地利用図(現況状況図)

今後の活用予定

- ① 人・農地プランでは農地利用状況調査項目として後継者の有無等のアンケート項目を加え、データベースを充実し、農地集積等に活用する予定。
- ② タブレット端末を活用した現地調査システムの推進
- ③ 口蹄疫対策への活用
- ④ 鳥獣害対策への活用

【現地調査システム】



【口蹄疫対策への活用】



【鳥獣害対策への活用】



■お問い合わせ先

長崎県土地改良事業団体連合会 総務部会員支援課

095-823-3101(代表)

農林水産省農村振興局整備部設計課計画調整室(横田、柳川)

03-6744-2201(直通)